



観音崎非核平和誓いのつどい大成功！

今年で第16回を迎えた「二重被爆したマグロ漁船員 藤井節弥さん追悼 観音崎非核平和誓いのつどい」は、7月16日の「海の日」に約70名の参加で大成功をおさめました。横三労連からも8名が参加し、当日の準備や後片付けにも、大奮闘しました。

当初は台風直撃か、と思われ、土曜には多数の問い合わせが殺到しましたが、奇跡的に台風の速度が早まり、風雨の影響を受けずに開催できました。参議院選挙最中ということで、畑野君枝候補は参加できないと思われ、メッセージを寄せていただいていたが、ご本人の強い希望でご参加されました。

つどいの第一部では、横須賀に在住の著名な画伯である龍山伯氏がジャンボ紙芝居を行い、好評でした。

第二部では、体調不良でこちらも参加が危ぶまれていた山下清子

さん（藤井節弥さんの実姉）のご挨拶を受けました。

もう一つ、これも今回に間に合うか、非常に微妙なところだった「命 焼かれて」（藤井節弥さんをテーマに公募した曲）のCDもぎりぎり完成し、千円で販売を開始しました。つどいには、この曲を歌った「よこすかジョイフルハーモニー」のメンバーも参加されました

住民投票実施のため、年内にもう一度直接請求！

7月16日に発生した新潟県中越沖地震では、柏崎刈羽原発で多数のトラブルが発生し、地震に弱い原発の実態が明らかになりました。来年8月末に横須賀に配備されようとしている原子力空母の安全性について、市民の間で不安の声が高まっています。

原子力空母母港・浚渫工事の差止裁判では、8月20日締切で仮処分の申立人を募集し、9月初めに申立を行う予定です。

一方、住民投票を進める会では、投票条例案に賛成した市議との懇談を行い、常設型住民投票条例案（自治基本条例）の議員提案をお願いしています。しかし可決される可能性は低く、難航しています。9月中旬まで可能性を追求し、難しいと判断されれば、年内に再度直接請求を行います。

「市民説明会」に参加しよう！

裏面に詳細を載せましたが、「原子力空母の安全対策に対する市民説明会が、横須賀市内10箇所（すべての公民館及びヴェルク横須賀）で開催されます。蒲谷市長は、「反対してもどうせ来るのなら、安全対策に充分時間をかけられるように」受け入れ表明をした（市民安全課の説明）のだそうです。それなら、本当に市民の立場からキッチリ考えているのかどうか、みんなで厳しくチェックをしましょう。地元選出の市議会議員にも、是非参加を呼びかけてください。